



東京学芸大学大学院修士課程

「教育支援協働実践開発専攻 教育 AI 研究プログラム」創設記念

キックオフシンポジウム

人工知能 (AI) と教育者養成

AI ベースの社会にはどのような教育人材が必要となるのか



日時

令和元年 7月13日(土)

13:00 - 16:30 (開場 12:30)

場所

リクルートホールディングス アカデミーホール

(東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー41F)

東京学芸大学では、「Society5.0」と言った言葉で提起されている、昨今の AI や IoT に代表される基幹的な技術革新に応じた教育のあり方への問いに応じて、新しい教育研究と教育者養成を先導するために、大学院教育学研究科修士課程を改組し、学生定員 35 名の「教育支援協働実践開発専攻 教育 AI 研究プログラム」を本年の 4 月に創設しました。

AI を主題とした日本で初めての教育学系の教育研究組織であるこのプログラムの内容と現状をご報告するとともに、今後、産業界や行政、学校現場、他大学との連携・協働を強化し、多くの志のある大学生に本研究プログラムを志望していただくために、下記の要領で「キックオフシンポジウム」を開催いたします。どうぞご参会いただけますように、お誘い申し上げます。



Gakugei



東京学芸大学大学院修士課程

「教育支援協働実践開発専攻 教育 AI 研究プログラム」創設記念

キックオフシンポジウム

人工知能 (AI) と教育者養成

AI ベースの社会にはどのような教育人材が必要となるのか



▶ 13:00-13:05 ▶ 開会挨拶 ● 出口 利定 (東京学芸大学学長)

▶ 13:05-13:45 ▶ キーノートスピーチ ● 小宮山 利恵子 (東京学芸大学准教授・スタディサプリ教育 AI 研究所所長)



小宮山 利恵子

1977年、東京生まれ。国会議員秘書、ベネッセ福武会長秘書等を経て「スタディサプリ」を展開する株式会社リクルートマーケティングパートナーズにて2015年12月より現職。超党派国会議員連盟「教育におけるICT利活用促進をめざす議員連盟」有識者アドバイザー。教育新聞特任解説委員。米国国務省招聘プログラム IVLP 修了。早稲田大学大学院修了。近著に「新時代の学び戦略」(共著、産経新聞出版、2019年)。7月18日「レアカで生きる 「競争のない世界」を楽しむための学びの習慣」(KADOKAWA) を出版予定。

▶ 14:00-15:30 ▶ 教育 AI 研究プログラムの現状・課題・可能性

(1) 設置の趣旨と組織体制 ● 松田 恵示 (東京学芸大学教授・副学長)

(2) 教育課程と研究活動 ● 中野 幸夫 (東京学芸大学准教授・教育 AI 研究プログラム代表)

(3) 教育課程の実際 ① - 専攻基礎科目(プログラム必修科目)「人工知能概論」の取組 -

● 遠藤 太郎 (東京学芸大学准教授・株式会社エクサウィザーズ ML エンジニア・理化学研究所 革新知能統合研究センター (AIP) 客員研究員)

(4) 教育課程の実際 ② - 文理融合の学生組織と講義の実際 -

● 関口 貴裕 (東京学芸大学教授) ● 森本 康彦 (東京学芸大学教授) ● 新海 宏成 (東京学芸大学准教授)

(5) 教育課程の実際 ③ - 「フィールド研究」と教育インキュベーションセンター -

● 金子 嘉宏 (東京学芸大学教授) ● 萬羽 郁子 (東京学芸大学准教授) ● 藤村 聡 (Mistletoe 株式会社)

(6) 研究者から見た「教育 AI」という考え方

● 加藤 直樹 (東京学芸大学准教授) ● 栗原 恒弥 (東京学芸大学教授・株式会社日立製作所主任研究員)

● 松田 恵示 (東京学芸大学教授・副学長)

▶ 15:30-15:45 ▶ クロージングスピーチ ● 杉森 伸吉 (東京学芸大学教授)

▶ 15:45-16:15 ▶ 個別相談・情報交換・交流



Gakugei